

第4次G20海洋プラスチックごみ対策報告書



2022年8月に開催されたG20環境大臣会合にあわせ、「G20海洋プラスチックごみ対策実施枠組」に基づき、各国から報告された取組状況を取りまとめた。

概要

<https://g20mpl.org/>

- ・ 36か国が報告（G20:16か国、G20以外：20か国）
8の国際機関・NGOが参加
- ・ 国家行動計画策定済:31か国、取組の進捗を測る指標を設定：21か国
- ・ 課題として多く挙げられたのは、リサイクルシステムの改善、適切な廃棄物処理、データ収集、普及啓発、廃棄物処理や技術革新への経済的インセンティブの欠如、新型コロナウイルスの感染拡大による事業の遅延等。

新たに報告された取組の例

【計画】7R政策（フィジー）

環境省による「7R政策」は、循環型経済へのコミットメントを支援し、2005年環境管理法およびそれに続く規則の施行に、その概念を内在化する。

【製品デザイン】持続可能・循環型デザイン促進のための規制（インドネシア）

プラスチック製のショッピングバッグ、容器、カトラリーなど、使い捨てのプラスチックを禁止し段階的に廃止。

【戦略】海洋ごみに関する国家行動戦略（シンガポール）

2022年6月発表。地域事情に合わせた6つの優先分野での海洋ごみ対策について、シンガポールの行動と対策のアウトラインを示す。

【調査】マイクロプラ調査（タイ）

国家レベルのベースライン・データを設定するために、海洋・沿岸生態系におけるマイクロプラスチック、海水、海岸堆積物、海洋生物に含まれるマイクロプラスチックに関する調査を実施。